別添４２

2021 年 4 月 12 日

就労継続支援Ａ型　基本報酬に関する届出書
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

１　事業所情報

事業所番号	4016700380								
事業所名称	未来サポートステーション北九州（お食事処　遊心）								
事業の種別	●	就労継続支援Ａ型	指定年月日	H20	年	2	月	1	日

２　公表状況

公表の有無	●	有		無	公表年月日	2021	年	4	月	20	日
公表方法（該当するものに●）	●	ホームページに掲載　（アドレスを記載してください）									
		ＵＲＬ	http://www.mirai-support-station.com/								
		その他　（具体的な方法を記載してください）									
		具体的な方法									

３　基本報酬算定区分　　※以下自動入力。

評価点合計

	170点以上
	150点以上170点未満
	130点以上150点未満
○	105点以上130点未満
	80点以上105点未満
	60点以上80点未満
	60点未満
	なし（経過措置対象）

評価事項	評価内容	スコア
Ⅰ労働時間	四時間以上四時間三十分未満	40
Ⅱ生産活動	各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5
Ⅲ多様な働き方	合計点が八点以上である	35
Ⅳ支援力向上のための取組	合計点が六点又は七点である	25
Ⅴ地域連携活動	実施あり	10

スコア合計（評価点）　115　点

備考　・　パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

・ 自己評価結果等の公表にあたっては、別添４２－１の各様式を用いて行ってください。
地域貢献活動の報告書の公表については、別添４２－２の様式を使用してください。

別添４２－１　（１／５）

年　　月　　日

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	未来サポートステーション北九州（お食事処　遊心）
住　所	北九州市門司区吉志一丁目33番10号
電話番号	093-342-9306

事業所番号	4016700380
管理者名	馴松　和己
対象年度	令和２年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が７時間以上		40
②1日の平均労働時間が６時間以上７時間未満		
③1日の平均労働時間が５時間以上６時間未満		
④1日の平均労働時間が４時間30分以上５時間未満		
⑤1日の平均労働時間が４時間以上４時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が３時間以上４時間未満		
⑦1日の平均労働時間が２時間以上３時間未満		
⑧1日の平均労働時間が２時間未満		点

①80点　②70点　③55点　④45　点　⑤40点　⑥30点　⑦20点　⑧5点

（Ⅱ）生産活動

①前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上		5
②前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		
④前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満	○	点

①40点　②25点　③20点　④5点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		35
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
小計（注1）	8	点

（※）任意の５項目を選択すること　　（注1）8以上:35点、6～7：25点、1～5：15点

（Ⅳ）　支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		25
参加した職員が１人以上であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
１回の場合		
２回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
どちらか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
１回の場合		
２回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する 制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去３年以内の福祉サービス第三者評価を 受審しており、結果を公表している。		
⑧ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認めるＩＳＯが定めた 規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計（注2）	6	点

（※）任意の５項目を選択すること　　（注2）8以上:35点、6～7：25点、1～5：15点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点

1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		25
地域連携活動	0点				10点				10

合計
115 点　　／２００点

指定就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（個別項目）

Ⅰ　平均労働時間　40 点

実績として評価する年度　令和２　年度

月	延べ労働時間数		延べ利用者数	
４月	3204	時間	800	人
５月	3330	時間	832	人
６月	3106	時間	776	人
７月	3084	時間	770	人
８月	3074	時間	763	人
９月	3070	時間	723	人
１０月	2892	時間	746	人
１１月	2884	時間	721	人
１２月	3028	時間	756	人
１月	2896	時間	724	人
２月	2572	時間	623	人
３月	2982	時間	745	人
合計	**36122**	**時間**	8979	**人**

評価内容

		就労継続支援Ａ型等のあった日の属する年度の前年度（以下、「前年度」という）において、当該就労継続支援Ａ型事業所等と雇用契約を締結していた利用者の当該就労継続支援Ａ型事業所等における労働時間の合計数を当該利用者の合計数で除して算出した、当該就労継続支援Ａ型事業所等における一日当たりの平均労働時間数	スコア
	一	七時間以上	80
	二	六時間以上七時間未満	70
	三	五時間以上六時間未満	55
	四	四時間三十分以上五時間未満	45
○	五	四時間以上四時間三十分未満	40
	六	三時間以上四時間未満	30
	七	二時間以上三時間未満	20
	八	二時間未満	5

１日の平均労働時間数 （延べ労働時間数÷延べ利用者数）	4.0	時間

Ⅱ　生産活動　5 点

実績として評価する年度　令和元　年度及び　平成30　年度

		生産活動収入（Ａ）	生産活動に係る経費（Ｂ）	生産活動収支（Ａ）-（Ｂ）＝（Ｃ）	利用者賃金総額（Ｄ）
令和元	年度	37,976,007	12,052,836	25,923,171	34,484,465
平成30	年度	26,618,276	10,284,227	16,334,049	35,206,956

評価内容		前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支（生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額）	スコア
	一	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
	二	前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	25
	三	前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	20
○	四	各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5

Ⅲ　多様な働き方　35点

就業規則その他これに準ずるものにより、次のイからチまでに掲げる利用者に関する事項を定めていることをそれぞれ一点として算定した合計点（五点を限度とし、前年度において、その算定した点数に係る当該事項を、利用者の希望に基づき講じた場合には、その講じた事項ごとに一点を加算した点数とする。以下この事項において単に「合計点」という。）

※任意の５項目を選択　※取組の具体的な内容について記入

イ		①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数２名 ※取得を進めた免許等：普通運転免許 ボイラー技士 制度の活用内容：
	○	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ロ		②利用者を職員として登用する制度		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎職員として登用した人数１名 ◎うち１名は雇用継続期間が６月に達している ◎うち１名は前年度末日まで雇用継続している ※登用した日　　２年　４月　１日 勤務形態：職業指導員 就業時間：　10時00分～15時00分 職業内容：利用者の職業指導
	○	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ハ		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		取組の具体的な内容
	○	1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ニ		④フレックスタイム制に係る労働条件		取組の具体的な内容
	○	1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ホ		⑤短時間勤務に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ヘ		⑥時差出勤制度に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ト		⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
チ		⑧傷病休暇等の取得に関する事項		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎傷病休暇等を取得した人数　２名 ※取得した内容　手術による休暇/病気入院 取得した期間：９月１５日～９月３０日 取得した期間：９月１５日～９月３０日
	○	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	

合計点　8　点

評価内容		合計点に応じてスコアを判定	スコア
○	一	合計点が八点以上である	35
	二	合計点が六点又は七点である	25
	三	合計点が一点以上五点以下である	15

Ⅳ　支援力向上のための取組　25 点

前年度（トに該当する場合にあっては、当該前年度の末日から起算して過去三年間）において、次のイからチまでのうち五つの項目に該当する場合に応じ、それぞれ当該項目に定めるところにより算定した点数（以下この事項において「合計点」という。）**※任意の５項目を選択　※取組の具体的な内容について記入**

イ		①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		取組の具体的な内容
		1	参加した職員が１人以上であった	◎研修実施回数外部　６回／内部　１回 対象職員数　１１人 うち研修受講者数　７人 研修名：組織力と売り上げ向上 研修講師：縄田　清高氏 実施日・受講者数５月９日７人
	○	2	参加した職員が半数以上であった	
		0	実績なし	
ロ		②研修、学会等又は学会誌等において発表		取組の具体的な内容
		1	１回の場合	発表している回数２回 ※研修：就労継続支援A型事業所全国協議会主催ヤマト福祉財団助成事業 全Aネット就労支援セミナーin東京　実施日３月３日 ※研修：沖縄A型ネットワーク主催 ちゃーすがA型！報酬改定！　実施日３月４日
	○	2	２回以上の場合	
		0	実績なし	
ハ		③視察・実習の実施又は受け入れ		取組の具体的な内容
		1	どちらか一方のみの取組を行っている	※先進的事業者名　長崎県佐世保市　オードリー 実施日/ 参加者数８月１１日４人 ※他の事業所名　北九州第二あゆみの里 実施日/ 参加者数４月７日　２０人
	○	2	いずれの取組も行っている	
		0	実績なし	
ニ		④販路拡大の商談会等への参加		取組の具体的な内容
		1	１回の場合	
		2	２回以上の場合	
	○	0	実績なし	
ホ		⑤職員の人事評価制度		取組の具体的な内容
		2	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	
	○	0	実績なし	
ヘ		⑥ピアサポーターの配置		取組の具体的な内容
		2	ピアサポーターを職員として配置している	
		0	実績なし	
ト		⑦第三者評価		取組の具体的な内容
		2	過去３年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
		0	実績なし	
チ		⑧ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等		取組の具体的な内容
		2	都道府県知事が適当と認めるＩＳＯが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	
		0	実績なし	

合計点　6 点

評価内容		合計点に応じてスコアを判定	スコア
	一	合計点が八点以上である	35
○	二	合計点が六点又は七点である	25
	三	合計点が一点以上五点以下である	15

Ⅴ　地域連携活動　　10 点

※「公表方法」、各要件の「有」の合計４つに●をつけた場合にのみスコアが表示

評価内容

前年度において、当該就労継続支援Ａ型事業所等が地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業若しくは官公庁等での就労又は生産活動その他の地域社会と連携した活動を行い、当該活動の内容及び当該活動に対する当該事業者又は当該企業若しくは官公庁等の意見を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表していること。

報告書の作成	○	有		無	※次ページに添付
企業等からの意見等	○	有		無	
公表の有無	○	有		無	

公表方法	○	ホームページに掲載	（アドレスを記載してください）
		ＵＲＬ	http://www.mirai-support-station.com/
		その他	（具体的な方法を記載してください）
		具体的な方法	

別添４２－２

令和3　年　4　月　12　日

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州
住　所	北九州市門司区吉志１丁目３３番１０号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本　千栄
対象年度	令和二年度

地域連携活動の概要	
＜活動内容＞ 下吉志公園清掃 松が江南校区敬老会やイベント参加 まつがえ荘　食堂 利用者延べ１５名参加	＜活動の様子＞ 別紙１ 別紙２
＜目的＞ 地域との交流 地域の困ったことのお手伝い 利用者の就労技術の向上	
＜成果＞ 利用者の就労意欲の向上 北九州市自治会活動応援事業者表彰 利用者の態度の面で向上	

連携先の企業等の意見または評価			
別紙３			
連携先企業名	松ヶ江南校区自治連合会	担当者名	松本　征幸

別添４２

2022 年 4 月 15 日

就労継続支援Ａ型　基本報酬に関する届出書
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

１　事業所情報

事業所番号	4017600380								
事業所名称	未来サポートステーション北九州								
事業の種別	●	就労継続支援Ａ型	指定年月日	2008	年	2	月	1	日

２　公表状況

公表の有無	●	有		無	公表年月日	2022	年	5	月	1	日
公表方法 （該当するものに●）	●	ホームページに掲載　（アドレスを記載してください）									
		ＵＲＬ	http://www.mirai-support-station.com/								
		その他　（具体的な方法を記載してください）									
		具体的な方法									

３　基本報酬算定区分　　※以下自動入力。

評価点合計

	170点以上
●	150点以上170点未満
	130点以上150点未満
	105点以上130点未満
	80点以上105点未満
	60点以上80点未満
	60点未満
	なし（経過措置対象）

評価事項	評価内容	スコア
Ⅰ労働時間	四時間以上四時間三十分未満	40
Ⅱ生産活動	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
Ⅲ多様な働き方	合計点が八点以上である	35
Ⅳ支援力向上のための取組	合計点が八点以上である	35
Ⅴ地域連携活動	実施あり	10
	スコア合計（評価点）	160 点

備考　・　パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

・　自己評価結果等の公表にあたっては、別添４２－１の各様式を用いて行ってください。
地域貢献活動の報告書の公表については、別添４２－２の様式を使用してください。

2022　年　4 月　15 日

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	未来サポートステーション北九州
住　所	北九州市門司区吉志一丁目３３番１０号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本　千栄
対象年度	令和３年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が７時間以上		40 点
②1日の平均労働時間が６時間以上７時間未満		
③1日の平均労働時間が５時間以上６時間未満		
④1日の平均労働時間が４時間30分以上５時間未満		
⑤1日の平均労働時間が４時間以上４時間30分未満	●	
⑥1日の平均労働時間が３時間以上４時間未満		
⑦1日の平均労働時間が２時間以上３時間未満		
⑧1日の平均労働時間が２時間未満		

①80点　②70点　③55点　④45　点　⑤40点　⑥30点　⑦20点　⑧5点

（Ⅱ）生産活動

①前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上	●	40 点
②前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		
④前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		

①40点　②25点　③20点　④5点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		35 点
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	●	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	●	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●	
小計（注1）	8	点

（※）任意の５項目を選択すること　（注1）8以上:35点、6～7：25点、1～5：15点

（Ⅳ）　支援力向上（※）

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		35 点
参加した職員が１人以上であった		
参加した職員が半数以上であった	●	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
１回の場合		
２回以上の場合	●	
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		
どちらか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている	●	
④販路拡大の商談会等への参加		
１回の場合	●	
２回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	●	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去３年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認めるＩＳＯが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計（注2）	9	点

（※）任意の５項目を選択すること　（注2）8以上:35点、6～7：25点、1～5：15点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	●	10 点

1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点		25点		40点		40
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点			10点					10

合計
160 点　／２００点

指定就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（個別項目）

Ⅰ　平均労働時間　40点

実績として評価する年度　　年度

月	延べ労働時間数		延べ利用者数	
４月	3067	時間	758	人
５月	3268	時間	813	人
６月	3192	時間	786	人
７月	3279	時間	810	人
８月	3224.5	時間	793	人
９月	2962	時間	729	人
１０月	3225.3	時間	793	人
１１月	3208	時間	789	人
１２月	3394	時間	836	人
１月	3378.8	時間	836	人
２月	2834.5	時間	709	人
３月	3188	時間	803	人
合計	**38221.1**	**時間**	9455	**人**

評価内容

		就労継続支援Ａ型等のあった日の属する年度の前年度（以下、「前年度」という）において、当該就労継続支援Ａ型事業所等と雇用契約を締結していた利用者の当該就労継続支援Ａ型事業所等における労働時間の合計数を当該利用者の合計数で除して算出した、当該就労継続支援Ａ型事業所等における一日当たりの平均労働時間数	スコア
	一	七時間以上	80
	二	六時間以上七時間未満	70
	三	五時間以上六時間未満	55
	四	四時間三十分以上五時間未満	45
●	五	四時間以上四時間三十分未満	40
	六	三時間以上四時間未満	30
	七	二時間以上三時間未満	20
	八	二時間未満	5

１日の平均労働時間数 （延べ労働時間数÷延べ利用者数）	4.0	時間

Ⅱ　生産活動　40点

実績として評価する年度　　年度及び　　年度

		生産活動収入（Ａ）	生産活動に係る経費（Ｂ）	生産活動収支（Ａ）-（Ｂ）＝（Ｃ）	利用者賃金総額（Ｄ）
令和３	年度	46,728,180	9,578,235	37,149,945	33,171,499
令和２	年度	44,666,113	10,271,460	34,394,653	31,146,142

※　経営実態調査時に提出した同年度の「生産活動収支報告書」の内容と一致しているか確認してください。

評価内容		前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支（生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額）	スコア
●	一	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
	二	前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	25
	三	前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	20
	四	各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5

Ⅲ　多様な働き方　35点

就業規則その他これに準ずるものにより、次のイからチまでに掲げる利用者に関する事項を定めていることをそれぞれ一点として算定した合計点（五点を限度とし、前年度において、その算定した点数に係る当該事項を、利用者の希望に基づき講じた場合には、その講じた事項ごとに一点を加算した点数とする。以下この事項において単に「合計点」という。）

※任意の５項目を選択　※取組の具体的な内容について記入

イ	◎	①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数1名 ※取得を進めた免許等：ボイラー技士 不合格
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ロ		②利用者を職員として登用する制度		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	就業規則で定めている
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ハ		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ニ		④フレックスタイム制に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ホ		⑤短時間勤務に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ヘ		⑥時差出勤制度に係る労働条件		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	◎時差出勤制度を活用した人数３名 ※実施した期間：4月1日～3月31日 就業時間（早出の場合）：９時００分～１４時００分 就業時間（遅出の場合）：11時00分～16時00分 職務内容：準備・片付け
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ト		⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎時間単位取得を活用した人数30名 ◎計画的付与制度を活用した人数30名 ※取得した制度　有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度 取得した期間：4月1日～3月31日 取得日数・時間　5日　20時間
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
チ		⑧傷病休暇等の取得に関する事項		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎傷病休暇等を取得した人数１名 ※取得した内容：　病気による手術 取得した期間：10月1日～10月10日 就業時間：　10時00分～15時00分
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	

合計点　8　点

評価内容		合計点に応じてスコアを判定	スコア
●	一	合計点が八点以上である	35
	二	合計点が六点又は七点である	25
	三	合計点が一点以上五点以下である	15

Ⅳ　支援力向上のための取組　35 点

前年度（トに該当する場合にあっては、当該前年度の末日から起算して過去三年間）において、次のイからチまでのうち五つの項目に該当する場合に応じ、それぞれ当該項目に定めるところにより算定した点数（以下この事項において「合計点」という。）**※任意の５項目を選択　※取組の具体的な内容について記入**

イ	◎	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		取組の具体的な内容
		1	参加した職員が１人以上であった	◎研修実施回数外部　１２回／内部　２回 対象職員数　１２人 うち研修受講者数　８人 ※研修名　福岡Ａ型事業所協議会 研修講師　厚生労働省　諏訪林係長他 実施日・受講者数9月18日5人
	●	2	参加した職員が半数以上であった	
		0	実績なし	
ロ		②研修、学会等又は学会誌等において発表		取組の具体的な内容
		1	１回の場合	発表している回数２回 ※第５回北九州フォーラム 実施日２月１９日 ※全国障害者就労支援ローカルネットワーク 掲載日３月１２日 どうなるＡ型
	●	2	２回以上の場合	
		0	実績なし	
ハ	◎	③視察・実習の実施又は受け入れ		取組の具体的な内容
		1	どちらか一方のみの取組を行っている	※那珂川キッチン 実施日/ 参加者数５月１５日３人 ※浅野障害者復帰センター 実施日/ 参加者数１月１７日６人
	●	2	いずれの取組も行っている	
		0	実績なし	
ニ		④販路拡大の商談会等への参加		取組の具体的な内容
	●	1	１回の場合	※商談会等名　食のフェスティバル 主催者名西原商会 日時８月２６日 商品展示会
		2	２回以上の場合	
		0	実績なし	
ホ		⑤職員の人事評価制度		取組の具体的な内容
	●	2	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	人事評価制度の制定日４年３月１０日 人事評価制度の対象職員数１０名 うち昇給・昇格を行った者１０名 当該人事評価制度の周知方法 職員会議での通知
		0	実績なし	
ヘ		⑥ピアサポーターの配置		取組の具体的な内容
		2	ピアサポーターを職員として配置している	
		0	実績なし	
ト		⑦第三者評価		取組の具体的な内容
		2	過去３年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
		0	実績なし	
チ		⑧ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等		取組の具体的な内容
		2	都道府県知事が適当と認めるＩＳＯが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	
		0	実績なし	

合計点　9　点

評価内容		合計点に応じてスコアを判定	スコア
●	一	合計点が八点以上である	35
	二	合計点が六点又は七点である	25
	三	合計点が一点以上五点以下である	15

Ⅴ　地域連携活動　　10 点

※「公表方法」、各要件の「有」の合計４つに●をつけた場合にのみスコアが表示

評価内容

前年度において、当該就労継続支援Ａ型事業所等が地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業若しくは官公庁等での就労又は生産活動その他の地域社会と連携した活動を行い、当該活動の内容及び当該活動に対する当該事業者又は当該企業若しくは官公庁等の意見を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表していること。

報告書の作成	●	有		無	※次ページに添付
企業等からの意見等	●	有		無	
公表の有無	●	有		無	

公表方法	●	ホームページに掲載　（アドレスを記載してください）	
		ＵＲＬ	http://www.mirai-support-station.com/
		その他　（具体的な方法を記載してください）	
		具体的な方法	

別添４２－２

４　年　３　月　31　日

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州
住　所	北九州市門司区吉志一丁目３３番１０号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本　千栄
対象年度	令和３年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞

廣石音彦氏の忠霊塔等
四半期に１回
草取り等
職員　２名　利用者数　１０名

＜目的＞

地域における交流事業
障害者との交流
技術の向上

＜成果＞

仕事回数の増加
事業回数の増加
更なるスピードアップ

＜活動の様子＞

連携先の企業等の意見または評価

我が社が管理する土地の草刈りをお願いしています。障害者の皆さんにお願いすることに正直不安がありました。
そして、最初の頃は、かなり時間がかかっていました。しかし、１年ほどたった最近では、迅速で丁寧にやっていただいています。廣石音彦氏の忠霊塔については、地域の皆さんによくご利用いただく施設で丁寧な除草に評価をいただいています。
こうしたことから、新年度については、４カ所（年間２回）の草刈りをおい願いしているところです。今後草刈りだけでなく可能な仕事があれば増やしていきたいと考えています。

連携先企業名	株式会社ツネミ	担当者名	総務部長　楢原文雄氏

別添４２

2023 年 4 月 4 日

就労継続支援Ａ型　基本報酬に関する届出書

及び自己評価結果等の公表に係る届出書

１　事業所情報

事業所番号	4017600380								
事業所名称	未来サポートステーション北九州								
事業の種別	●	就労継続支援Ａ型	指定年月日	H20	年	2	月	1	日

２　公表状況

公表の有無	●	有		無	公表年月日	2023	年	5	月	1	日
公表方法 （該当するものに●）	●	ホームページに掲載　（アドレスを記載してください）									
		ＵＲＬ	http://www.mirai-support-station.com/								
		その他　（具体的な方法を記載してください）									
		具体的な方法									

３　基本報酬算定区分　　※以下自動入力。

評価点合計

	170点以上
●	150点以上170点未満
	130点以上150点未満
	105点以上130点未満
	80点以上105点未満
	60点以上80点未満
	60点未満
	なし（経過措置対象）

評価事項	評価内容	スコア
Ⅰ労働時間	四時間以上四時間三十分未満	40
Ⅱ生産活動	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
Ⅲ多様な働き方	合計点が八点以上である	35
Ⅳ支援力向上のための取組	合計点が八点以上である	35
Ⅴ地域連携活動	実施あり	10
	スコア合計（評価点）	160 点

備考　・　パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

・　自己評価結果等の公表にあたっては、別添４２－１の各様式を用いて行ってください。
地域貢献活動の報告書の公表については、別添４２－２の様式を使用してください。

2023　年　4 月　4 日

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	未来サポートステーション北九州
住　所	北九州市門司区吉志一丁目３３番１０号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本　千栄
対象年度	令和４年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が７時間以上		40 点
②1日の平均労働時間が６時間以上７時間未満		
③1日の平均労働時間が５時間以上６時間未満		
④1日の平均労働時間が４時間30分以上５時間未満		
⑤1日の平均労働時間が４時間以上４時間30分未満	●	
⑥1日の平均労働時間が３時間以上４時間未満		
⑦1日の平均労働時間が２時間以上３時間未満		
⑧1日の平均労働時間が２時間未満		

①80点　②70点　③55点　④45　点　⑤40点　⑥30点　⑦20点　⑧5点

（Ⅱ）生産活動

①前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上	●	40 点
②前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上		
③前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		
④前々年度及び前年度において 生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満		

①40点　②25点　③20点　④5点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		35 点
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	●	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	●	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●	
小計（注1）	8	

（※）任意の５項目を選択すること　（注1）8以上:35点、6～7：25点、1～5：15点

（Ⅳ）　支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		35 点
参加した職員が１人以上であった		
参加した職員が半数以上であった	●	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
１回の場合		
２回以上の場合	●	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
どちらか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている	●	
④販路拡大の商談会等への参加		
１回の場合		
２回以上の場合	●	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去３年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認めるＩＳＯが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計（注2）	8	

（※）任意の５項目を選択すること　（注2）8以上:35点、6～7：25点、1～5：15点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	●	10 点

1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点		25点		40点		40
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		35
地域連携活動	0点			10点					10

合計
160 点　／２００点

指定就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（個別項目）

Ⅰ　平均労働時間　40 点

実績として評価する年度　　年度

月	延べ労働時間数		延べ利用者数	
４月	3114	時間	765	人
５月	3214	時間	790	人
６月	3018	時間	741	人
７月	3116	時間	768	人
８月	3045	時間	750	人
９月	2918.5	時間	719	人
１０月	3246.1	時間	800	人
１１月	3071.5	時間	759	人
１２月	3162	時間	782	人
１月	2946.2	時間	726	人
２月	2663	時間	656	人
３月	3069.1	時間	755	人
合計	**36583.4**	**時間**	9011	**人**

評価内容			スコア
就労継続支援Ａ型等のあった日の属する年度の前年度（以下、「前年度」という）において、当該就労継続支援Ａ型事業所等と雇用契約を締結していた利用者の当該就労継続支援Ａ型事業所等における労働時間の合計数を当該利用者の合計数で除して算出した、当該就労継続支援Ａ型事業所等における一日当たりの平均労働時間数			
	一	七時間以上	80
	二	六時間以上七時間未満	70
	三	五時間以上六時間未満	55
	四	四時間三十分以上五時間未満	45
●	五	四時間以上四時間三十分未満	40
	六	三時間以上四時間未満	30
	七	二時間以上三時間未満	20
	八	二時間未満	5

１日の平均労働時間数 （延べ労働時間数÷延べ利用者数）	4.1	時間

Ⅱ　生産活動　40 点

実績として評価する年度　令和４　年度及び　令和３　年度

		生産活動収入（Ａ）	生産活動に係る経費（Ｂ）	生産活動収支（Ａ）-（Ｂ）＝（Ｃ）	利用者賃金総額（Ｄ）
令和４	年度	45,797,163	11,950,539	33,846,624	32,976,645
令和３	年度	46,728,180	10,689,162	36,039,018	33,171,499

※　経営実態調査時に提出した同年度の「生産活動収支報告書」の内容と一致しているか確認してください。

評価内容		前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支（生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額）	スコア
●	一	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
	二	前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	25
	三	前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	20
	四	各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5

Ⅲ　多様な働き方　35 点

就業規則その他これに準ずるものにより、次のイからチまでに掲げる利用者に関する事項を定めていることをそれぞれ一点として算定した合計点（五点を限度とし、前年度において、その算定した点数に係る当該事項を、利用者の希望に基づき講じた場合には、その講じた事項ごとに一点を加算した点数とする。以下この事項において単に「合計点」という。）

※任意の５項目を選択　※取組の具体的な内容について記入

イ		①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数１名 ※取得を進めた免許等：ボイラー２級 制度の活用内容：資格取得支援
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ロ		②利用者を職員として登用する制度		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	◎職員として登用した人数０名 就業規則で定めている　今年度はなし。過去に実績あり
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ハ		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ニ		④フレックスタイム制に係る労働条件		取組の具体的な内容
	●	1	就業規則等で定めている	就業規則で定めている　今年度はなし。過去に実績あり
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ホ		⑤短時間勤務に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ヘ		⑥時差出勤制度に係る労働条件		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	
		2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
ト		⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎時間単位取得を活用した人数33名 ◎計画的付与制度を活用した人数10名 ※取得した制度　有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度 取得した期間：4月1日～3月31日 取得日数・時間　5から11日　１から４時間
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	
チ		⑧傷病休暇等の取得に関する事項		取組の具体的な内容
		1	就業規則等で定めている	◎傷病休暇等を取得した人数１名 ※取得した内容：　けが 取得した期間：１月１４日～4月2日 就業時間：　10時00分～15時00分 職務内容：調理補助
	●	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
		0	実績なし	

合計点　8 点

評価内容		合計点に応じてスコアを判定	スコア
●	一	合計点が八点以上である	35
	二	合計点が六点又は七点である	25
	三	合計点が一点以上五点以下である	15

Ⅳ　支援力向上のための取組　35 点

前年度（トに該当する場合にあっては、当該前年度の末日から起算して過去三年間）において、次のイからチまでのうち五つの項目に該当する場合に応じ、それぞれ当該項目に定めるところにより算定した点数（以下この事項において「合計点」という。）**※任意の５項目を選択　※取組の具体的な内容について記入**

イ		①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		取組の具体的な内容
		1	参加した職員が１人以上であった	◎研修実施回数外部　2回／内部　2回 対象職員数　10人 うち研修受講者数　10人 ※研修名　障害者が働きやすい環境とは 研修講師桝元　淳子氏 実施日・受講者数12月29日10人
	●	2	参加した職員が半数以上であった	
		0	実績なし	
ロ		②研修、学会等又は学会誌等において発表		取組の具体的な内容
		1	１回の場合	発表している回数2回 ※研修、学会等名　第６回北九州フォーラム 実施日2月18日 ※研修、学会研修名　第１４回全国障害者就労支援ローカルネットワーク 実施日3月11日
	●	2	２回以上の場合	
		0	実績なし	
ハ		③視察・実習の実施又は受け入れ		取組の具体的な内容
		1	どちらか一方のみの取組を行っている	※先進的事業者名　カムラック 実施日／ 参加者数6月21日3人 ※他の事業所名　滋賀県就労継続支援Ａ型事業所協議会 実施日／ 参加者数2月23日9人
	●	2	いずれの取組も行っている	
		0	実績なし	
ニ		④販路拡大の商談会等への参加		取組の具体的な内容
		1	１回の場合	※商談会等名　岩田産業展示会　　西原商会展示会 主催者名岩田産業　　西原商会 日時7月5日　　９月６日 内容　メニュー開発
	●	2	２回以上の場合	
		0	実績なし	
ホ		⑤職員の人事評価制度		取組の具体的な内容
		2	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	人事評価制度の制定日●年●月●日 人事評価制度の対象職員数●名 うち昇給・昇格を行った者●名 当該人事評価制度の周知方法 〇〇〇
		0	実績なし	
ヘ		⑥ピアサポーターの配置		取組の具体的な内容
		2	ピアサポーターを職員として配置している	※配置期間　●月●日～●月●日 就業時間 職務内容〇〇〇
	●	0	実績なし	
ト		⑦第三者評価		取組の具体的な内容
		2	過去３年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	※評価を受けた日●月●日 第三者評価機関〇〇〇
		0	実績なし	
チ		⑧ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等		取組の具体的な内容
		2	都道府県知事が適当と認めるＩＳＯが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	※認証を受けた日●月●日 規格等の内容〇〇〇
		0	実績なし	

合計点　8 点

評価内容		合計点に応じてスコアを判定	スコア
●	一	合計点が八点以上である	35
	二	合計点が六点又は七点である	25
	三	合計点が一点以上五点以下である	15

Ⅴ　地域連携活動　　10 点

※「公表方法」、各要件の「有」の合計４つに●をつけた場合にのみスコアが表示

評価内容

前年度において、当該就労継続支援Ａ型事業所等が地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業若しくは官公庁等での就労又は生産活動その他の地域社会と連携した活動を行い、当該活動の内容及び当該活動に対する当該事業者又は当該企業若しくは官公庁等の意見を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表していること。

報告書の作成	●	有		無	※次ページに添付
企業等からの意見等	●	有		無	
公表の有無	●	有		無	

公表方法	●	ホームページに掲載	（アドレスを記載してください）
		ＵＲＬ	http://www.mirai-support-station.com/
		その他	（具体的な方法を記載してください）
		具体的な方法	

別添４２－２

2023　年　4　月　4　日

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州
住　所	北九州市門司区吉志一丁目３３番１０号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本　千栄
対象年度	令和４年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞

下吉志公園や付近や歩道の清掃・吉志天疫神社等
地域行事がある度
唐揚げや、焼き鳥のお店などを出店及び清掃
延べ　１００人程度

＜目的＞

地域との交流

＜成果＞

利用者の皆さんと地域の交流が広がっています

＜活動の様子＞

連携先の企業等の意見または評価

下吉志公園や付近や歩道の清掃は、年間を通して行って頂いており、公園を利用する子ども達や、高齢者の皆さんなどに感謝されています。校区が管理している畑や花壇等の作業もよく手伝って頂きます。
また、校区のイベントや祭りにも、唐揚げや、焼き鳥のお店などを出店してもらっており。地域の皆さんから差し入れを頂いたりして、利用者の皆さんと地域の交流が広がっています。

連携先企業名	松ヶ江南校区自治総連合会	担当者名	会長　松本征幸

別添４２

2024 年 4 月 14 日

就労継続支援Ａ型　基本報酬に関する届出書

及び自己評価結果等の公表に係る届出書

１　事業所情報

事業所番号	4017600380								
事業所名称	未来サポートステーション北九州								
事業の種別	●	就労継続支援Ａ型	指定年月日	H20	年	2	月	1	日

２　公表状況

公表の有無		有		無	公表年月日	2024	年	5	月	1	日
公表方法 （該当するものに●）		ホームページに掲載　（アドレスを記載してください）									
		ＵＲＬ	https://www.mirai-support-station.com/								
		その他　（具体的な方法を記載してください）									
		具体的な方法									

３　基本報酬算定区分

（Ⅰ）労働時間	40	点
（Ⅱ）生産活動	60	点
（Ⅲ）多様な働き方	15	点
（Ⅳ）支援力向上のための取組	15	点
（Ⅴ）地域連携活動	10	点
（Ⅵ）経営改善計画	0	点
（Ⅶ）利用者の知識・能力向上	10	点

合計　150 点　／２００点

備考　・　パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

・自己評価結果等の公表にあたっては、別添４２－１から４２－４までの各様式を使用してください。
・地域貢献活動の報告書の公表については、別添４２－３の様式を使用してください。
・利用者の知識・能力向上に係る実施状況の報告書については別添４２－４を使用してください。

（別添４２－１）

2024 年 4 月 14 日

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（全体）

※　緑色のセルのみ入力してください

事業所名	未来サポートステーション北九州	事業所番号	4017600380
住　所	北九州市門司区吉志一丁目33番10号	管理者名	宮本　千栄
電話番号	093-481-3456	対象年度	令和5年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が７時間以上		40
②1日の平均労働時間が６時間以上７時間未満		
③1日の平均労働時間が５時間以上６時間未満		
④1日の平均労働時間が４時間30分以上５時間未満		
⑤1日の平均労働時間が４時間以上４時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が３時間以上４時間未満		
⑦1日の平均労働時間が２時間以上３時間未満		
⑧1日の平均労働時間が２時間未満		点

①90点 ②80点 ③65点 ④55 点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

（Ⅱ）生産活動

①過去３年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	60
②過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③過去３年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
④過去３年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去３年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		点

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤－10点 ⑥－20点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点

（※）８項目の合計点に応じた点数　（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）　支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が１人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
１回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
１回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去３年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）８項目の合計点に応じた点数　（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点

期限内に提出していない場合：-50点

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援Ａ型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計
150 点　／２００点

（別添４２－１）

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（　5年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	34,617	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	8,561	人	利用者の１日の平均労働時間数	4	時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（ 4月～ 3月）

前々々年度（　3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	36,039,018	円	利用者に支払った賃金総額	33,171,499	円	収支	2,867,519	円

前々年度（　4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	33,846,624	円	利用者に支払った賃金総額	32,976,645	円	収支	869,979	円

前年度　（　5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	33,078,228	円	利用者に支払った賃金総額	31,804,032	円	収支	1,274,196	円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（5年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている ☑

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☑

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☐

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☑

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☐

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☐

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☑

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☑

（Ⅳ） 支援力向上

前年度（5年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している ☑
◎外部研修、もしくは内部研修を１回以上実施している。 ☑
※研修名　他人との接し方、向き合い方
研修講師　樋口恵美代氏
実施日・受講者数　1月 10日 6人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において１回以上発表している ☑
※研修、学会等名　第7回北九州フォーラム
実施日　2月 17日
※学会誌等名
掲載日　月 日
発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☑
※先進的事業者名　那珂川キッチン
実施日/ 参加者数　3月 23日 2人
※他の事業所名　門司特別支援学校保護者
実施日/ 参加者数　10月 12日 30人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ１回以上参加している。 ☑
※商談会等名　マキタ展示会
主催者名　株式会社タカハシ
日時　3月 22日
内容　畑活用し、仕入れ原価を抑えるために参加し、育て方など勉強になる

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している ☑
◎当該人事評価制度を周知している ☑
人事評価制度の制定日　6年 10月 1日
人事評価制度の対象職員数　5名
うち昇給・昇格を行った者　4名
当該人事評価制度の周知方法　回覧により周知

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している ☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ﾋﾟｱｻﾎﾟｰﾄ研修」を受講している ☐
※配置期間　月 日～ 月 日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去３年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐
※評価を受けた日　月 日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☐
※認証を受けた日　月 日
規格等の内容

（Ⅵ） 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☑
※受理日　年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

（別添４２－３）

様式１

令和6　年　4　月　14　日

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州（お食事処遊心）
住　所	北九州市門司区吉志1丁目33番10号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本　千栄
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞

活動場所　　下吉志公園、まつがえ荘、天疫神社他
実施日程　　6月、10月の清掃他、行事の度
地域と連携した清掃及びイベントでの物品販売等
利用者数　　5～10名程度

＜目的＞

地域連携活動のねらい　　地域に溶け込んでいき、皆さんにご協力いただけるようにしていく
地域にとってのメリット　　公園などの安全管理。祭りでの交流
対象者にとってのメリット　　地域の方に声をかけられ、喜んでいる

＜成果＞

実施した結果　　地域との交流が増えてきている
得られた成果　　親しく話しかけていただけるようになった
課題点　　マンネリ化せず、毎回新鮮な気持ちで継続して行く

＜活動の様子＞

連携先の企業等の意見または評価

下吉志公園や付近の歩道などの草刈りや清掃を、年間を通して行って頂いており、公園を利用する子ども達や高齢者の皆さんに大変感謝されているとことです。市民センターのイベントや地元の祭りなどへボランティアとしての参加や唐揚げや、焼き鳥などを出店してもらっており味も含めて好評であります。
地域の皆さんから、利用者の皆さんに差し入れを頂いたりして、交流が広がっています。
　こうした活動を、評価して、北九州市の第1回自治会活動応援事業者に推薦し、北九州市から認定されたところです。
　今後とも、より交流を深めていければと思っています。

連携先企業名	松ヶ江南校区自治連合会	担当者名	会長　松本征幸

（別添４２－４）

様式２

令和6　　年　　4　　月　　14　　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州（お食事処遊心）
住　所	北九州市門司区吉志1丁目33番10号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本　千栄
対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

法人本部
令和6年3月1日
心理的向上を図り、次のステップを目指してもらう
利用者数　　10名

＜目的＞

管理職まで経験した人の苦労を知り、みんな同じと少しでも思ってもらう
健常者との違いと思っていることの溝が少しなくなった

＜成果＞

実施した結果　　表情もよく、話しかける利用者が増えている
得られた成果　　健常者も同じような悩みがある事を理解したとのこと
課題点　　心理的問題が大きいと感じた

＜活動の様子＞

連携先の企業や事業所等の意見または評価

元、清滝保育所の園長であった、樋口恵美代さんより問題提起がありました。樋口さんのほうから、私自身、ひどい人見知りで、学校や保母になってからも、人とかかわることが苦手だった。しかし、子供たちとかかわる中で、このままでは、いけないと感じ、少しずつ努力して関わるようになっていきました。いつの間にか、管理職になり、多くの人と関わり、人前で話すことも多くなり積極的にいろんな地域のイベントに参加するようになりました。

皆さんも、人と関わることが苦手という人がいると思いますが、私の経験からするとまずは、話を始めるところからではないでしょうか。恥ずかしがらずに、まずは話してみるそこからだと思います。頑張りましょう。　その後、意見交換となりましたが、利用者の中に、元保育士さんがおり、現役時代の苦労などが話されました。利用者の中には、私と同じ、人付き合いが苦手な方が、仕事を行う上で、話しかけることは大切だと言ってくれているので、このような悩みがある方に今後も相談に乗っていく機会を続けたいと思ってます

連携先企業（担当者）	樋口恵美代氏

利用者からの意見・評価

今回の話は、人と上手く付き合うと仕事も楽しくなると感じました。自分も話しかけるようにしていき、将来、一般就労できるように頑張りたいと思いました。他

別添４２

2025 年 4 月 14 日

就労継続支援Ａ型　基本報酬に関する届出書

及び自己評価結果等の公表に係る届出書

１　事業所情報

事業所番号	4017600380								
事業所名称	未来サポートステーション北九州								
事業の種別	●	就労継続支援Ａ型	指定年月日	H20	年	2	月	1	日

２　公表状況

公表の有無		有		無	公表年月日	2025	年	5	月	1	日
公表方法 （該当するものに●）		ホームページに掲載　（アドレスを記載してください）									
		ＵＲＬ	https://www.mirai-support-station.com/								
		その他　（具体的な方法を記載してください）									
		具体的な方法									

３　基本報酬算定区分

（Ⅰ）労働時間	40	点
（Ⅱ）生産活動	60	点
（Ⅲ）多様な働き方	15	点
（Ⅳ）支援力向上のための取組	15	点
（Ⅴ）地域連携活動	10	点
（Ⅵ）経営改善計画	0	点
（Ⅶ）利用者の知識・能力向上	10	点

合計　150 点　／２００点

備考　・　パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

・自己評価結果等の公表にあたっては、別添４２－１から４２－４までの各様式を使用してください。
・地域貢献活動の報告書の公表については、別添４２－３の様式を使用してください。
・利用者の知識・能力向上に係る実施状況の報告書については別添４２－４を使用してください。

（別添４２－１）

2025 年 4 月 14 日

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（全体）

※　緑色のセルのみ入力してください

事業所名	未来サポートステーション北九州	事業所番号	4017600380
住　所	北九州市門司区吉志一丁目33番10号	管理者名	宮本　千栄
電話番号	093-481-3456	対象年度	令和6年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が７時間以上		40
②1日の平均労働時間が６時間以上７時間未満		
③1日の平均労働時間が５時間以上６時間未満		
④1日の平均労働時間が４時間30分以上５時間未満		
⑤1日の平均労働時間が４時間以上４時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が３時間以上４時間未満		
⑦1日の平均労働時間が２時間以上３時間未満		
⑧1日の平均労働時間が２時間未満		点

①90点 ②80点 ③65点 ④55 点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

（Ⅱ）生産活動

①過去３年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	60
②過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③過去３年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
④過去３年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去３年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		点

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤－10点 ⑥－20点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点

（※）８項目の合計点に応じた点数　（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）　支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が１人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
１回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
１回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去３年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）８項目の合計点に応じた点数　（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点

期限内に提出していない場合：-50点

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援Ａ型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計
150 点　／２００点

（別添４２－１）

就労継続支援Ａ型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（　6

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	28,233	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	7,006	人	利用者の１日の平均労働時間数	4	時間

（Ⅱ）生産活動

会計期間（　月～　月）

前々々年度（　4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	33,846,624	円	利用者に支払った賃金総額	32,976,645	円	収支	869,979	円

前々年度（　5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	33,078,228	円	利用者に支払った賃金総額	31,804,032	円	収支	1,274,196	円

前年度　（　年度）

生産活動収入から経費を除いた額	26,872,279	円	利用者に支払った賃金総額	25,637,598	円	収支	1,234,681	円

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（　6年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている　☑

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている　☑

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている　☐

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている　☑

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている　☐

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている　☐

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている　☑

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている　☑

（Ⅳ）　支援力向上

前年度（　6年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している　☑
◎外部研修、もしくは内部研修を１回以上実施している。　☑
※研修名　障害理解について
研修講師　辰島　圭
実施日・受講者数　2月　15日　5人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において１回以上発表している　☑
※研修、学会等名　第8回　北九州フォーラム
実施日　2月　15日
※学会誌等名
掲載日　月　日
発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている　☑
※先進的事業者名　福岡丸福水産
実施日/ 参加者数　3月　29日　1人
※他の事業所名
実施日/ 参加者数　月　日　人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ１回以上参加している。　☑
※商談会等名　FOODFAIR　2024
主催者名　西原商会
日時　8月　28日
内容　新商品開発や仕入れ原価を抑える為に参加し、コスト低下につながった。

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している　☑
◎当該人事評価制度を周知している　☑
人事評価制度の制定日　6年　10月　1日
人事評価制度の対象職員数　4名
うち昇給・昇格を行った者　4名
当該人事評価制度の周知方法

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している　☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ﾋﾟｱｻﾎﾟｰﾄ研修」を受講している　☐
※配置期間　月　日～　月　日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去３年以内に福祉サービス第三者評価を受けている　☐
※評価を受けた日　月　日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ＩＳＯが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている　☐
※認証を受けた日　月　日
規格等の内容

（Ⅵ）　経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。　☑
※受理日　年　月　日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

（別添４２－３）

様式１

2025　年　4　月　14　日

就労継続支援Ａ型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州（お食事処遊心）
住　所	北九州市門司区吉志1丁目33番10号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本　千栄
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

＜活動内容＞

活動場所　　株式会社ツネミ　私有地
実施日程　　5月・10月の年2回
株式会社ツネミさんが所有する5か所の私有地の草刈り
利用者数　　5～10名程度

＜目的＞

地域連携活動のねらい　　地域とのつながりを作る。
地域にとってのメリット　　廣石音彦氏の忠霊塔については、地域の皆さんのよく利用いただく施設がきれいになる。
対象者にとってのメリット　　地域の方との関りを持てる事を喜んでいる。

＜成果＞

実施した結果　　敷地内がきれいになった。
得られた成果　　丁寧な除草と評価を頂いています。
課題点　　最後まで集中力を切らさず取り組んでいく。

＜活動の様子＞

連携先の企業等の意見または評価

わが社が管理する土地の５か所の草刈りをお願しています。最初ころは、かなりの時間がかかっていましたが、最近では、迅速で丁寧にやって頂いています。廣石音彦氏の忠霊塔については、地域の皆さんのよく利用いただく施設ですが、丁寧な除草に評価を頂いています。

こうしたことから、わが社の敷地５か所については年間2回程度の草刈りを時期も含めてお任せしているところです。今後草刈だけではなく、可能な仕事があれば増やしていきたいと考えています。

連携先企業名	株式会社　ツネミ	担当者名	課長　中山　啓太郎　様

（別添４２－４）

様式２

2025　年　4　月　14　日

就労継続支援Ａ型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	未来サポートステーション北九州（お食事処遊心）
住　所	北九州市門司区吉志1丁目33番10号
電話番号	093-481-3456

事業所番号	4017600380
管理者名	宮本　千栄
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

＜活動内容＞

未来サポートステーション北九州（お食事処遊心）

実施日程　　令和7年10月12日

地域の事を知ることで地域との関りが出来るようになる。

利用者数　9名

＜目的＞

地域の方とのつながりや歴史を知ることで
地域とのつながりを強化する

＜成果＞

実施した結果　地域のイベントに声をかけてもらうことが増えた。

得られた成果

課題点　イベント出店販売の種類を増やす。

＜活動の様子＞

連携先の企業や事業所等の意見または評価

地元の街づくり協議会のイベントなどに、出店して唐揚げ等販売頂いて味も含めて好評であります。

最近は、恒見天疫神社のお祭りなどにもボランティアとして、参加頂いて居り、校区になくてはならない存在になっています。

連携先企業（担当者）	松ヶ江南校区街づくり協議会　生涯学習部長　川村真由美　様

利用者からの意見・評価

今、現在までのご苦労が良く分かる話でした。地域の皆さんの協力があり、これまでの歴史があると考えると、一人の力は小さいけれど、一つにまとまると大きな力になり、無理だと思えることも達成できるのだなと思いました。自分達ももっと、もっと力を合わせて、よりよくしていきたいと思いました。他の人の嫌なところを見るのではなく、良いところを褒め合って行きたいと思いました。